

Title	古代佛像の人類學的研究(北村直躬 石崎達二著, 岩波書店發行)
Sub Title	
Author	淺子, 勝二郎(Asako, Shojiro)
Publisher	三田史学会
Publication year	1936
Jtitle	史学 Vol.14, No.4 (1936. 3) ,p.172(710)- 173(711)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19360300-0172

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

器がトーテミズム等の理由から意外に初期に生れたことも考へ得る。銅鐸とか銅鼓とか云ふ様な今日から理窟のわからぬものが兎に角古代から製造せられてゐる様な實例から云つても考古學的研究の上には古代の呪術的宗教的方面からの考察が所謂非實用、實用云々の功利的見地より以上に大切なではなかろうか。然し今日梅原氏初め我國考古學者達の研究が世界的の大飛躍を爲してをするのにも拘らず宗教的土俗學的研究が依然舊套を脱せず、考古學者の研究にも側面から寄與することが出來ぬのは顧みて慚愧の念に堪えぬ。(松本信廣)

古代佛像の人類學的研究 (北村直躬著 岩波書店發行)

本書は人種學的研究の立場に立つ北村博士と佛教美術史的研究の立場に立つ石崎學士との共同作品であり、佛教に於る造像の歴史に關與した人種の體質的特徵と、我古代佛像彫刻の上に認めんとする——古代佛像の上に佛教傳來の歴史を人種的に認めんとするものである。

著者に依れば、佛像が人體を模したものであるとすれば、それが寫實的なる限に於て、生體計測法の如き精密なる自然科學的研究方法を用ひて佛像を研究することは極めて合理的である。少くとも佛像の面相、體型、姿勢等の如き形態に關するものはこの方法で、之を人體同様に取扱つて差支ないのである。彫像の表情の如きものは、その形態の各部の量的・比例の綜合に外ならぬ故、作品の表情に依て美的價值判断をなす場合、面相や體型等の數値は

極めて重大なる意義を有するものである。佛像が他の藝術品と異なるところは、それが人體を模した點にある。従つて佛像には他の彫像の場合と同様美的表現以外に性的表現、人類體質的表現の如き特殊の要素が存在するのである。この點からいって人類學的觀察——實測に依る數値の人類學的觀察が當然必要になつて來るのである。

更に史的研究上佛像の有する特殊性は、地理的に廣範囲に亘つて傳承されたこと、又十數世紀に亘つてその製作が繼續されたことである。従つて佛像の地理的乃至時代的特色には、それが人體を模したものである限、人種體質的諸特徵と程度の差はあれ、中性的要素として有するものであり、佛像の史的研究に人類體質學の知識を適用することはこの意味に於て必要であるといふのである。

著者は斯る立場に立つて、美術史に於けるわが造像様式の發展、わが古代彫刻に對する體質人類的研究法の應用、わが古代佛像の體質的諸相、佛像の體質的特徵の時代別比較を説き、附錄として、人類學と歴史學との交渉に就て或暗示を與へる聖德太子の御事蹟と御體質を加へてゐる。

本來佛像は信仰の具であるが故に、又造像には種々の約束なるものあるが故に、純然たる寫實的製作物とは或はいへないかも知れないが、時代の好尚、民族の特質を反映してゐるものとはみると御體質を加へてゐる。

要するに本書は、審美的立場からのみ美醜を批判する、從來の佛像研究に一步を進めて、生體計測法を用ひて佛像觀察の基礎を

確立したこと、又人類體質學若しくは人種體質學の立場から佛像研究に科學的方法を適用したところに新味を有するのである。我々は本書に於て、古代日本人の作り出した佛像彫刻を見ると共に、この佛像彫刻に依て古代日本人の姿を發見することが出来るのである。(四六判本文二一九頁、圖版二十挿圖十九、定價貳圓)

(淺子勝二郎)

寄贈交換圖書雜誌目錄

立正史學	七	立正大學史學會
文化	二ノ一二、三ノ一、二	東北帝大附屬圖書館
ひだびと	三ノ一二、四ノ一、二	飛驒考古土俗學會
風俗研究	一八七、一八八、一八九	風俗研究所
燕京學報	一八	燕京大學圖書館
神社協會雜誌	三四ノ一二、三五ノ一二	神社協會
人類學雜誌	五〇ノ一二、第一四附錄五一ノ一	東京人類學會
上毛及上毛人	二三四、二三五、二二六	上毛鄉土史研究會
刀劍會誌	三六ノ一二、三七ノ一二	中央刀劍會
經濟史研究	一四ノ六、一五ノ一、二	日本經濟史研究所
考古學	六ノ一〇	東京考古學會
考古學雜誌	二五ノ一二、一二、二六ノ一	考古學會
考古學論叢	第一輯	考古學研究會
國學院雜誌	一〇ノ一二、一一ノ一、二	國大雜誌部
國民經濟雜誌	五九ノ六、六〇ノ一、二	商業研究所
國史回顧會紀要	二八	國史回顧會
皇學	三ノ四	神宮皇學館
密教研究	五七	密教研究會
大谷學報	一六ノ四	大谷大學佛教研究會
歷史地理	六六ノ六、六七ノ一、二	日本歷史地理學會
歷史教育	一〇ノ九、一〇ノ一一	歷史教育研究會
青丘學叢	二〇	青丘學叢發行所
西洋史研究	八	西洋史研究會
龍谷史壇	一七	
櫻田勝德、山口和雄著		
アチック・ミューゼアム		
龍谷大學史學研究室		
埼玉鄉土會		
埼玉史談	七ノ三	
書評		